

肝炎重症化・肝がん予防推進事業について

平成 27 年 3 月 9 日

広島県健康福祉局薬務課

1 事業の概要

肝炎ウイルス検査陽性者をデータベース化し、広島県における肝炎ウイルスの感染状況、陽性者の受診動向、長期経過を把握し、保健指導・診療に役立てる等、肝がんによる死亡者数の減少を目標として「広島県肝疾患患者フォローアップシステム（以下『フォローアップシステム』という。）」を平成 25 年度から運用している。

今年度からは、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図ることを目的に、フォローアップシステム登録者の内、一定の条件を満たしている者を対象に、検査費用の助成を開始したところである。

2 平成 26 年度の実施状況

(1) フォローアップシステムへの新規登録状況

今年度、本県の「『がん対策日本一』推進事業」における「ウイルス性肝炎対策」として、肝がん発生者の多くを占める C 型肝炎ウイルス陽性者の受診率向上のため、フォローアップシステムに新たに 420 人登録してもらうことを計画し、本事業を含め、次のとおり位置付け実施した。

事業名	事業概要	登録者数（人）[上段：計画，下段：実績]				
		第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	計
肝炎重症化・肝がん予防推進事業	フォローアップシステムを活用した受診勧奨及び検査費用助成					
肝疾患コーディネーターの養成・活用及び産業医研修	市町の保健師及び産業医への研修による地域及び職域での対策強化	—	90	140	190	420
肝炎ウイルス検査・治療助成事業	抗ウイルス治療費の助成	60	257	144	17	478

※フォローアップシステム全体の登録者数：868 人（平成 27 年 1 月末現在）

内訳：平成 25 年度 109 人，平成 26 年度：761 人（登録後の辞退者 2 人）

(2) 既登録者の更新登録状況

平成 25 年度の登録者の内、登録後の辞退者及び案内前に平成 26 年度の受診が確認できた者を除いた 105 人に対し、平成 27 年 1 月末までに、更新登録の案内を行った。

3 次年度に向けての課題・検討事項

- 今年度から開始した検査費用助成については、対象者が非常に限定されていることから、申請者数が伸び悩んでいるが、初回精密検査の対象者に対しては、県保健所又は市町による保健指導の機会があるため、フォローアップシステムへの登録勧奨を行う際、登録へのインセンティブとなるよう、周知へのさらなる協力を働きかけていきたい。
- 更新登録について、当初、案内から半年以内に更新登録が確認できない場合に市町等に保健指導を依頼することを考えていたが、登録者の中には、年 1、2 回の受診者等もいることから、当面、一定期間経過後に再度の更新案内を行うこととし、それでも更新登録が確認できない場合に、保健指導を依頼する。
- フォローアップシステムにおいて医療機関で記入する「受診調査票」について、次の 3 点に伴う様式の改正を行う。
 - ① 新たな治療（インターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療のテノホビル使用）を「治療内容」の選択肢に追加
 - ② 「肝がんによる死亡者数減少」のための取り組みであることをより強調するため、「検査所見」に「腫瘍マーカー（AFP）」を、「診断結果」の「肝がん」の欄に「直近の画像診断日」を追加
 - ③ 新規登録時、「初診時」の診断名を求めているが、診断名のみを記載をデータとして活用することが考えにくいこと、古くからの受診の場合等に医療機関での記載の手間が大きいことから記載欄を削除